



ライフネット生命保険株式会社

日本航空株式会社との資本業務提携及び
KDDIグループとの業務提携に関する説明会

2026年4月30日

[登壇者]

代表取締役社長 横澤 淳平

取締役副社長 CFO 河崎 武士

登壇

横澤：皆様、本日はお忙しい中、ライフネット生命保険株式会社の提携案件に関する説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。代表取締役社長の横澤でございます。

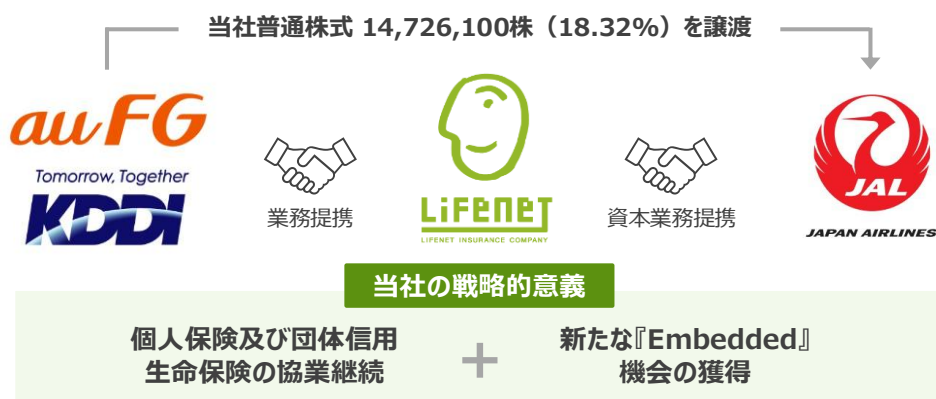
本日発表しました、日本航空株式会社との資本業務提携及び、KDDI グループとの業務提携に関しまして、背景や今後の展望について、説明いたします。

それでは、説明を始めます。

本日のハイライト



- 日本航空¹がauフィナンシャルホールディングス保有の当社全株式を取得
- KDDIグループとの戦略的パートナーシップに加え、日本航空との新たな提携により、中期計画の重点領域『Embedded』の推進を加速



1. 以降、本資料においてJALと表記

1

1 ページをご覧ください。

まず、本日のハイライトです。本件取引の全体感について簡単に説明します。

今回、当社の主要株主である au フィナンシャルホールディングス株式会社が保有する当社普通株式の全部を、JAL が相対取引により取得することを発表しました。

この資本異動に伴い、当社は KDDI グループと改めて業務提携契約を締結するとともに、JAL とは新たに資本業務提携契約の締結をすることとなりました。

本件における当社の戦略的な意義は大きく 2 点です。1 点目は、KDDI グループとの戦略的パートナーシップが個人保険・団体信用生命保険の協業を含めて継続されること、2 点目は、巨大な経済圏を有する JAL との新たな提携により、中期計画に掲げる重点領域「Embedded」の推進が加速することです。

本件取引の概略



■ 日本航空株式会社との資本業務提携

相手先	● 日本航空株式会社
目的	● JALのブランド力、顧客基盤、マイルなどのアセットと、ライフネット生命のオンライン生保としてのプレゼンス、パートナー提携のノウハウ、磨き続けてきたUI/UXを融合し、お客さまの生活・人生の安心・安全を支える商品・サービスを共創することで、両社の事業拡大および新たな生命保険の価値の提供をすること
売出方法	● auフィナンシャルホールディングス株式会社が保有するライフネット生命の普通株式をJALへの相対取引により譲渡
対象株式	● 普通株式 14,726,100株
売出条件	● 総額294億円 ● 1株あたり2,000円
取引スケジュール	● 資本業務提携契約締結日：2026年4月30日 ● 株式取得日：2026年6月下旬（予定） ¹

■ KDDIグループとの業務提携

相手先	● KDDI株式会社及びauフィナンシャルホールディングス株式会社
目的	● ライフネット生命の持つインターネット上での顧客獲得ノウハウや低廉な保険料での保険商品に、KDDIグループの持つ顧客基盤、WEB、アプリ、サービスなどの開発ノウハウを融合し、顧客メリットをもたらす顧客満足度が高い保険商品・サービスを提供することにより、KDDIグループ、ライフネット生命双方のビジネス拡大を目指すこと
内容	● 重要な戦略的パートナーとして個人保険及び団体信用生命保険の両事業の協業継続
取引スケジュール	● 業務提携契約締結日：2026年4月30日

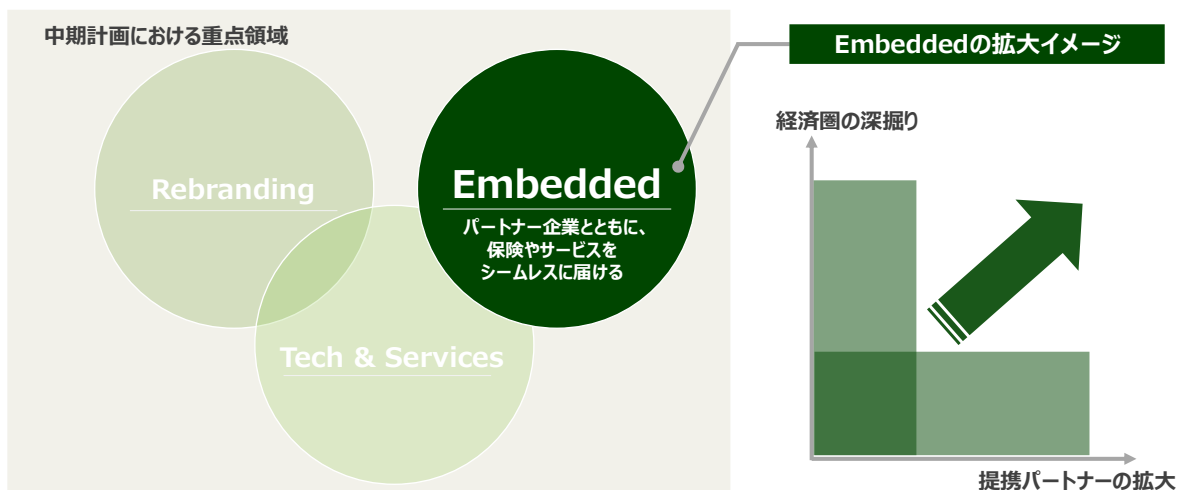
¹ auFHが所有する当社普通株式全部のJALへの譲渡は、JALによる保険主要株主に係る認可の取得等の所定の条件が充足されることを前提に実行される予定であり、当該条件の充足の状況によって変更される可能性があります。

2 ページには本件の概略を記載しておりますのでご確認ください。

中期計画の重点領域における位置づけ



- 重点領域『Embedded』の戦略として、既存・新規両パートナーとの共創を進化させ、企業価値向上を目指す



3

3 ページをご覧ください。

当社の 2024 年度から 2028 年度の中期計画における本件の位置づけを説明します。

中期計画の成長戦略として、3つの重点領域「Tech & Services」「Rebranding」「Embedded」を掲げています。その一つである Embedded においてはパートナー企業の経済圏に「組み込む、エンベッド」されることで、パートナー企業とともに、保険やサービスをシームレスに届けることを掲げています。

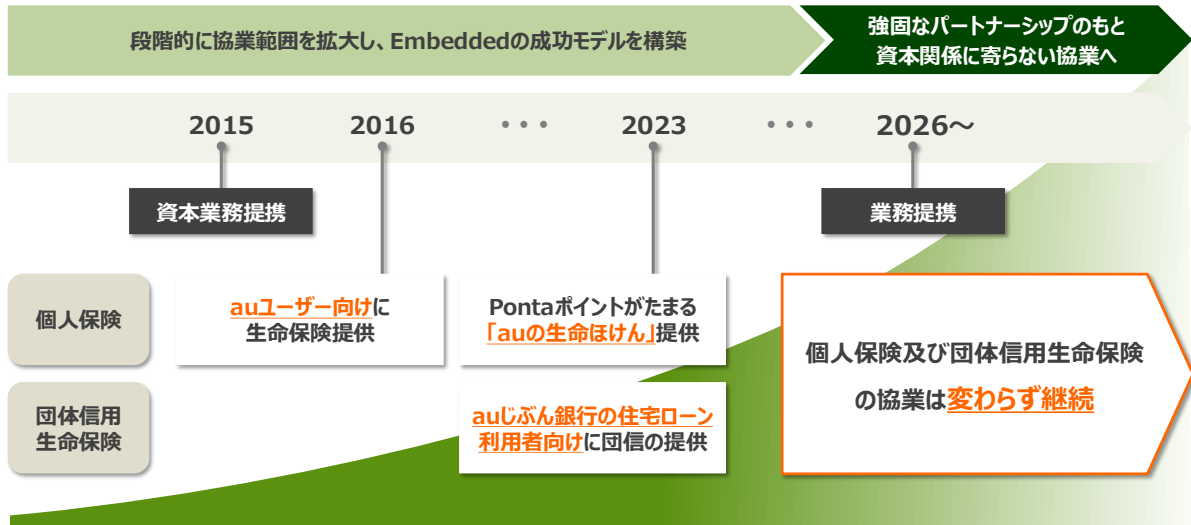
現在は「提携パートナーの拡大」と「経済圏の深掘り」の両軸で拡大を目指していますが、本件はまさに Embedded における大きな進展となります。

既存の戦略的パートナーである KDDI グループ、新規の提携パートナーとなる JAL の両パートナーとの共創を進化させてまいります。

KDDIグループとの戦略的パートナーシップの継続



- 自律的かつ強固な推進体制のもと、
今後も個人保険及び団体信用生命保険の両事業をともに推進



4

4 ページをご覧ください。

KDDIグループとの今後の業務提携について説明します。

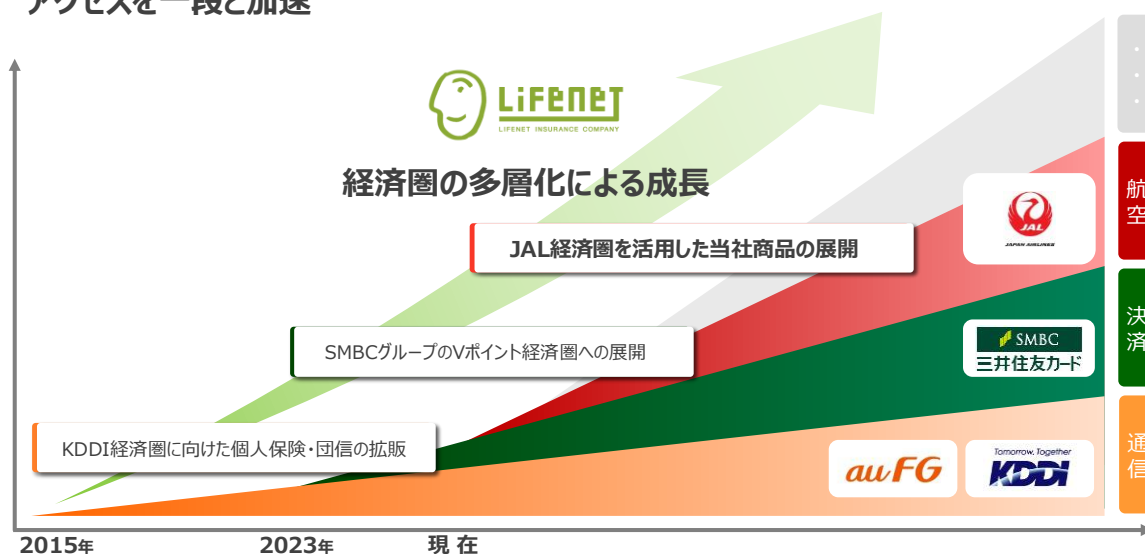
2015年の資本業務提携契約の締結以来、KDDIグループとは強固なパートナーシップを構築し、auユーザー向け生命保険の提供や、Pontaポイントがたまる「auの生命ほけん」、さらにはauじぶん銀行の住宅ローン利用者向けに団体信用生命保険を提供するなど、提携範囲を段階的に拡大し、関係を継続的に強化してきました。

JALへの当社株式の譲渡に伴い、KDDIグループとの資本提携関係は解消されますが、これまで築き上げてきた強固なパートナーシップのもと、今後も相互に重要な戦略的パートナーとして協業関係を継続することに合意しています。引き続き、個人保険、団体信用生命保険の両事業の協業を推進していきます。

『Embedded』による成長加速へ



- JALとの新たな提携を加え、異業種リーディングカンパニーが持つ巨大な経済圏へのアクセスを一段と加速



5

5 ページをご覧ください。

今回の JAL との新たな提携は、当社にとって、2015 年の KDDI グループ、2023 年からの SMBC グループに次ぐ、第三の新たなグループ経済圏への組み込みとなり、重点領域「Embedded」による事業成長をさらに加速する機会です。KDDI グループや SMBC グループなど既存の提携パートナーと切り拓いてきた通信・決済業界に加え、今回の新たな提携では航空業界へのアクセスが可能となります。これまでにない顧客接点を創出し、中期計画の重点領域「Embedded」における事業成長を強力に推進してまいります。

JALとの資本業務提携の戦略的狙いと主な取組み



■ 両社の強みを掛け合わせることで、重点領域を推進し、双方の事業拡大を目指す



1. JALマイレージバンク (JMB) の会員数 (2026年3月末時点)

6

6 ページをご覧ください。

JAL との提携による戦略的狙いと、主な取組みについて説明します。

JAL グループは今年 3 月に発表された「JAL グループ経営ビジョン 2035」において、「非航空領域」の拡大を目指されています。一方、当社は既にご説明の通り、中期計画の重点領域である「Embedded」の強化を掲げており、今回の提携を通じて、親和性の高い双方の戦略をかけあわせることで事業シナジーを最大化する可能性が大きく広がると考えています。

具体的には、当社のオンライン生保として培ってきた圧倒的 No.1 のプレゼンス、パートナー提携のノウハウ、そして磨き続けてきた UI/UX に、JAL の日本を代表するブランドカ、約 4,100 万人の JAL マイレージバンク会員などの顧客基盤、強力なロイヤリティプログラムが掛け合わされ、お客さまの生活・人生の安全・安心を支える商品・サービスを共創し、両社の事業拡大及び生命保険の新たな提供の形を目指します。

両社で想定する主な取組み内容は、資料に記載の 3 点となりますが、その詳細は次ページでご説明します。

JALグループと「新たな保険体験」を共創

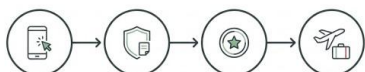


■ 強固な顧客基盤とアセットを活用し、JAL経済圏に最適化した商品・サービスの多角的な展開を目指す

1 JALによる当社保険商品の販売 (募集代理店業務)

JALの顧客基盤・ブランド力などの活用により、新たな保険体験を提供

【イメージ】



集客 JALチャネルからの集客
加入 シームレスな保険募集・引受
還元 JAL特典
体験 非日常的な体験の提供

2 JALのアセットを活用した保険商品の開発

マイルなどの付加価値を有する専用商品の共同開発



商品の共同開発

マイルなどを活用した
JALの生命保険

3 JALグループ向け保険商品の共同開発

JALグループを対象とした団体型保険商品の検討



安心・安全を支える
ライフネット生命の商品・サービス

1. 連結従業員数 (2025年3月末時点)

7ページをご覧ください。

両社で想定している具体的な取組内容となります。

1点目は、JALによる当社保険商品の募集代理店としての販売です。JALの多様なチャネルを通じて、当社の商品をJAL経済圏のより多くのお客さまにお届けすることを目指し、新たな保険体験を提供してまいります。

2点目は、JALのアセットを活用した保険商品の開発です。JALのブランド力・顧客基盤と、当社の高い商品開発力を掛け合わせることで、マイルなどの付加価値を有する保険商品の共同開発を目指します。

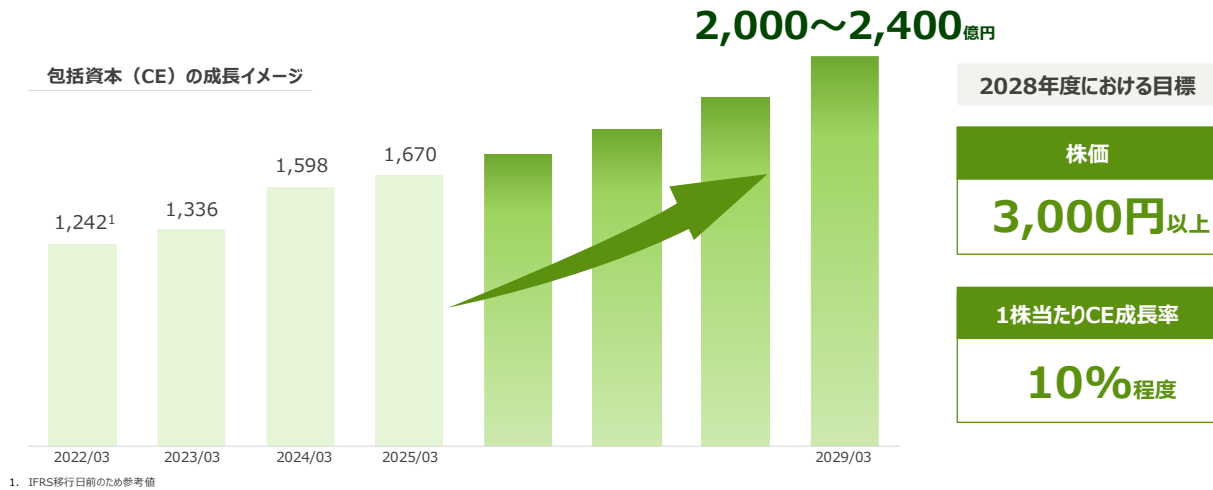
3点目は、JALグループ向け保険商品の共同開発となります。具体的には約3.8万人のJALグループを対象とした団体型保険商品の検討を進めてまいります。

このように、JALグループの強固な顧客基盤とアセットを活用し、JAL経済圏に最適化した商品・サービスの多角的な展開を実現させることで、両社の事業成長を目指します。

中期計画達成に向けて



- KDDIグループとの戦略的パートナーシップの継続+JALとの新たな提携により、成長を加速することで、2028年度経営目標の達成を目指す



8

最後に、スライドの 8 ページをご覧ください。

今回の KDDI グループとの戦略的パートナーシップの継続、そして JAL との新たな提携により、当社の重点領域「Embedded」の推進を加速し、中期計画で掲げた包括資本 2,000 億円から 2,400 億円への到達を目指してまいります。

株主・投資家の皆さまには、新たな成長ステージへと進むライフネット生命の挑戦にご期待いただくとともに、引き続き、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。私からの説明は以上となります。ご清聴、誠にありがとうございました。